

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年7月1日

事業者名: 市原工業株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	市原工業株式会社では「責任ある企業行動」を掲げ「産業と技術革新の基盤をつくろう」「つくる責任。使う責任」「パートナーシップで目標を達成しよう」の3点を重点的に取り組んでおります。特に環境面においては、弊社では木製パレットや木箱の製造を行っている為、木片等のゴミが発生してしまいます。そこで発生した木片をゴミとして処分するのではなく、キャンプ用の焚き付け用木材として販売するなどし、資源の再利用を行う等、環境に対してのSDGs活動を行っております。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑫つくる責任 つかう責任、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	2023年4月と2024年4月を比べた際に、木片のゴミとしての処分量を30%ほど軽減。	指標	事業における木片のゴミとしての産出量
				目標	2030年までに、事業における木片のゴミとしての産出量を減らす。具体的な数値として、2030年と2024年を比べた際に、50%の削減を目標とする。
社会	市原工業株式会社では「ダイバーシティ&インクルージョン」を掲げ「ジェンダー平等を実現しよう」「働きがいも経済成長も」「人や国の公平等をなくそう」の3点を重点的に取り組んでおります。特に多様な人材の能力と個性を活かし、いききとやりがいをもって働くことが出来る職場環境を整備することで品質自己ゼロを目指し、安心安全をお客様に届けていきます。	⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑧働きがいも経済成長も、⑩人や国の公平等をなくそう	2023年度では、シルバー人材登用として、65歳以上の従業員の雇用を促進。 2023年度では、2名の新規雇用を達成。それぞれの人材の能力と個性を活かした職場環境としております。様々な人が働きやすい社会を目指したSDGs活動を行っております。	指標	シルバー人材登用として、65歳以上の従業員の雇用を促進。
				目標	2030年までに、年間3名以上の雇用促進を常態化させる。
経済	市原工業株式会社では「ワークライフバランス」を掲げ「すべての人に健康と福祉を」「働きがいも経済成長も」「ジェンダー平等を実現しよう」の3点を重点的に取り組んでおります。すべての従業員が家族の幸せ、自己の成長、そして自社の成長を喜んでもらえるような職場環境づくりを進める事で、それぞれの生産性も向上し、社会経済にとってプラスになる活動を行っております。	③すべての人に健康と福祉を、⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑧働きがいも経済成長も	2023年6月に、社内規則を変更・記述化し、特別休暇制度の設定。	指標	従業員の働き方の変更、ワークライフバランスの重視に伴う働きがいの満足度の上昇
				目標	半年に一度の従業員との面談において、ワークライフバランスへの意識と働く意欲に関する項目を追加。5段階の評価(1が最低5が最高)をしてもらい、平均4点以上を目標とする。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ■重点項目についてホームページへの記載と従業員への周知を行っております。 ■半年に1度の面談の際に重点項目のSDGs活動についてのヒアリングと意見交換・意識共有を行い、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取り組みについての特設ホームページ: https://ichihara-kk.jp/sdgs/			